

## 加藤俊男 業績一覧

\* 加藤俊男が筆頭者の発表、共著を含む

\* 黒字は論文、青字は学会発表

発表年	表 題	発表年	表 題
1932	脊椎骨折の統計的観察	1950	GE會社レ線機製造工場視察記
1932	草津温泉浴客に現るゝタダレの醫學的考察	1952	余等の考案せる連続撮影装置
1933	脊椎骨及び椎間軟骨の發育	1952	男子のレ線去勢
1933	椎間軟骨小節のレ線の検索	1952	小型レ線機に起り易い故障と対策
1933	自動車に依る長途走行が人體に及ぼす影響に関する實驗的研究(一)	1953	簡易なるBieplane
1934	胎兒脊椎の發育	1953	レントゲン寫眞を過信するな
1934	邦人脊椎骨並に椎間軟骨縦徑に関する研究	1954	男子のレ線去勢
1935	WasserPhantomを使用しての等量曲線	1954	レ線連續寫眞撮影
1935	硬レ線放射の皮膚受容量	1954	子宮頸部癌の放射線治療方法
1936	脊柱間帶石灰化のレ線研究	1955	連續直接撮影に由る肺血管造影法の診斷的應用
1936	胎兒脊柱のレ線學的研究	1956	人體(生體)胃血管の撮影連續レ線撮影
1936	硬レ線分割遷延放射に於ける皮膚受容量	1957	人體(生體)胃血管の撮影連續レ線撮影
1937	レ線透視診断	1957	生體胃血管のレ線像
1938	成人人體心臟の廻轉角度(豫報)	1957	Angiocardiologyに由る肺癌切除可能度の検討
1939	脊柱運動のレ線研究	1957	傍脊椎Alcohol注射療法に関する實驗的竝に臨牀的研究
1939	横隔膜Relaxatioの二三の所見	1960	Lymphography(1)
1939	生體心臟の廻轉	1960	歐米各大學廻り歩き記
1939	横隔膜下膿瘍(症例報告)	1960	淋巴管造影法に関する經驗(英語)
1939	脊柱運動に関するレ線學的研究(1)前・後・屈伸運動	1961	余の考案せるBiplaneに由るAngio-cephalographieと診断
1940	工場従業員の労働と胸部レ線像の經年變化	1961	SH514に由る膽囊の造影
1940	醫療器製作者へ	1961	集團檢診用消化管造影劑(硫酸Barium)の實驗成績及び使用方法
1940	横隔膜Relaxatioに依り起る内臓器の異常	1961	Hysterosalpingographyの新装置
1941	巨大食道及び巨大結腸の各一例	1961	Lymphographie(淋巴管撮影)
1941	レ線管球の壽命	1961	SH514(Biloptin)に由る膽囊の造影
1941	レ線集團検査	1962	Mageneration
1941	労働の保健管理	1962	腦疾患のレ線診断と其意義
1941	レ線集團検査	1962	神經放射線懇話會の記
1941	レ線像に見られし一過性肺浸潤症	1962	Logetron
		1963	Lymphography(3)
		1963	レ線寫眞の進歩に對する考え方
		1963	誌上留學(レ線)
		1964	有色造影劑に由るLymphography(2)
		1964	圧力計附注入装置に由るLymphography(2)淋巴腺摘出後のLymphography
		1964	水溶性Jod造影劑,Conray及Angioconrayの使用經驗
		1964	レ線寫眞の解像力
		1966	脾臓のレ線診断
		1966	Myelobulbographie gazeuse法空気を造影劑としたMyelography
		1966	Pariのレ線診断
		1966	欧米大学病院の組織運営の実態
		1966	財団法人日本Waksman財団10年の歩み